



除湿機が精肉加工場の結露の悩みを一掃！ 補助金&リースを活用して低温設備も更新



▲一階加工場、中温用パッケージエアコンの隣に設置された2馬力の天吊形産業用除湿機。塩素が多い雰囲気なので外装ステンレス仕様+防食仕様(カチオン電着塗装)を採用



▲二階も2馬力の天吊形除湿機を空調機の横に設置



◀一階と二階の天井裏には0.8馬力の天吊形除湿機を各1台設置。これは二階用



▲コンデンスユニットは屋上に集中設置

▲2冷媒兼用のECO V DUALにR410A冷媒を封入して使用

1960年代に大阪の十三駅前創業し、現在は「国産牛焼肉原料一式」の卸・小売・加工業を営む株式会社丸山食品様。内臓肉専門の加工会社として、焼肉店やスーパーマーケットからの信頼は厚く、小売部門も人気です。2001年に新大阪駅と十三駅のほぼ中間に位置する住宅街に移転し、現本社は、一・二階が加工場、三階が事務所という造りです。

加工場の低温庫は一・二階併せて6室、いずれも低温機器が老朽化してガス漏れもあったため、2023年12月に三菱電機製品(R410A冷媒)で全面更新。ユニットクーラは29年前の三菱電機製(R404A冷媒)を筆頭に、新しいものでも設置から12年は経過しており、更新は近年の課題でした。今回、エネ合後継の省エネ補助金*とリースを活用することで、更新コストを軽減することができました(補助金適用は一部機種)。

さらに、長年結露に悩まされてきたため、2024年3月に三菱電機の産業用除湿機を4台導入。一・二階の加工場に各1台、それぞれの天井裏にも各1台設置することで、結露の悩みを一掃することができ、好評をいただいています。

*令和4年度 補正予算 省エネルギー投資促進支援事業費補助金(C)指定設備導入事業 (「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」の後継と位置付けられる)



▲冷凍庫・冷蔵庫の扉上に設置された制御ボックスとコントローラ



DATA

- 施設所在地: 大阪府大阪市淀川区木川西4-3-3
- 納入機種: 【産業用除湿機】 KEH-P2A-SUS-BKNx1、KEH-P2Ax1、KEH-P08A1x2 【コンデンスユニット】 ECOV-D15WA1x1、ECOV-D22WA1x4 【ユニットクーラ】 UCL-D3VHAx3、UCL-D4VHAx1、UCR-D5VHAx3
- 設備用途: 食肉の低温保管、加工場・天井裏の除湿
- 設備設計: 三菱電機冷熱プラント株式会社
- 納入時期: 2023年12月(低温機器更新)、2024年3月(除湿機新設)

お客様の評価

株式会社丸山食品
業務担当
三野 義美 様



長年悩まされた結露問題、 除湿機で一気に解決できました

当社は月産4.2トンほどの規模で牛の内臓肉を加工生産しています。工場内は長年、結露に悩まされてきました。室温は10℃設定ですが、毎日作業後にお湯を使って床を洗浄するので多湿となり、低温庫側も霜が付きやすくなります。断熱材を結氷が覆い、梅雨時はとくにひどい状況でした。

除湿機導入後は天井面まで完全に乾くようになり、結露はすっかり解消しました。プレナム吹き出しのままだと作業者が寒いので遮蔽板を設置していますが、24時間連続使用でも運転音は気になりませんし、導入して本当によかったと思います。

提案者の声

三菱電機冷熱プラント株式会社
大阪支社
営業部 低温システム第一課 主任
永田 昌義 様



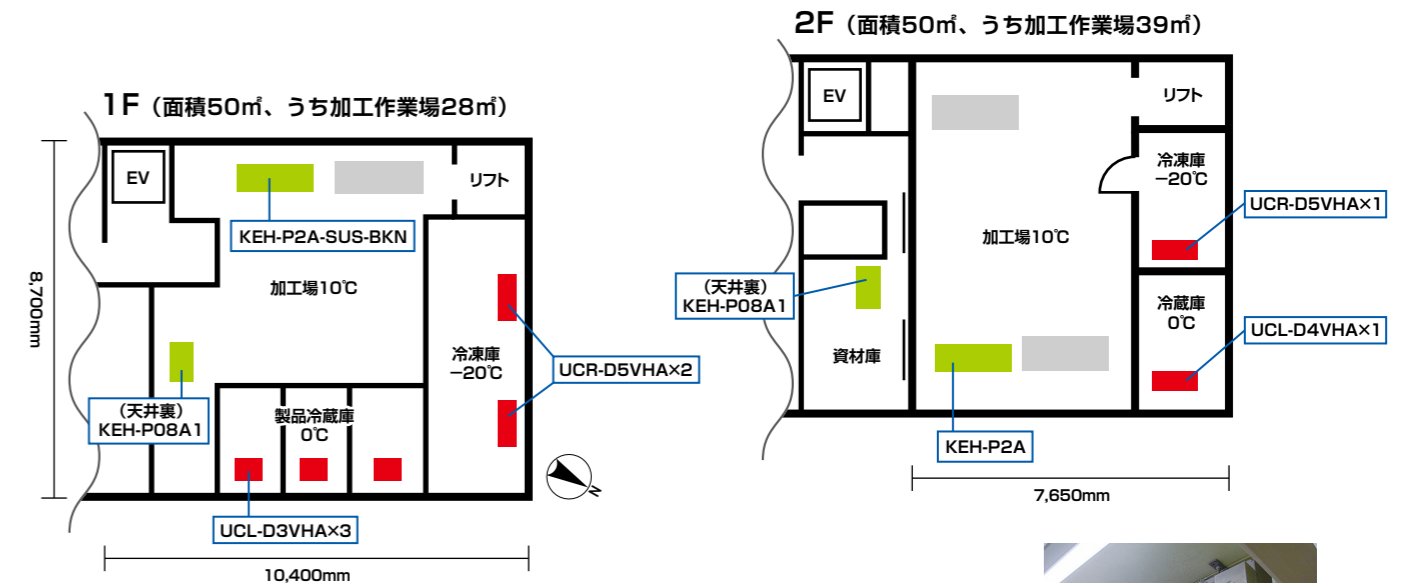
補助金&リースの活用で 設備更新のコスト抑制を提案

低温機器の更新に際しては、配管更新や壁抜きも必要で大工事になるため、補助金の活用についてお客様からご相談を受けました。そこで「省エネ補助金とリースの併用プラン」を提案しました。補助金とリースで設備更新のコストを抑制でき、機器の省エネ効果で電気代も削減できます。

補助金適用を意識して、後継機種もクールマルチではなく個別で選定しました。更新前は大きな制御盤がありましたが、更新後は簡単なボタン操作で済み、運転音の静音化と併せて好評です。

除湿機の導入効果にもご満足いただいています。

■ 設置見取り図 ■ ユニットクーラ ■ 産業用除湿機 ■ 中温用パッケージエアコン



▲一階の冷凍庫(-20℃)



▶一階の冷蔵庫(0℃)はユニットクーラ3馬力×3台で冷却



▲二階冷凍庫のユニットクーラ

▲二階加工場用の産業用除湿機